

春愁

麻田春庵

跡がない文書く我は春愁

残り雪赤く染まれり稜線に

春愁生きているしるしトイレかな

春泥や和の環の輪の掌

行く春や真つ赤な嘘に欺されて

猫の恋麗麗しきや駕与丁

新年や苦しき時の神頼み

屠蘇酌めば息子の血潮流し込む